



今年も頑張りましょう！

# Andrew

アンドリュー アブロード

# Abroad

Vol.2

日本のお正月には、初詣をはじめ、おせち料理や年賀状など、伝統的なものがあります。私が日本に留学した時に東京でお正月を経験しましたが、今年は、初めて笠間でお正月を祝うことができて嬉しく思います。アメリカでのお正月は、12月31日の夜に友達や家族と集まり、年が明けるまで一緒に過したり、お祝いしたりします。毎年、ニューヨークのタイムズスクエアではカウントダウンをしながら新年の象徴であるボールをゆつくりと下げる「ボールドロップ」をみるというお祝いをしています。日本と同じように、アメリカでも12月31日のラスト1分をカウントダウンして、新年を迎えた瞬間に「Happy New Year!」(明けておめでとう!)と叫びます。お祝いしながら新年を迎えるのは最高ですね。

日本で、多くの場合閉店前に流れる「蛍の光」という曲は、実はアメリカで大晦日によく流れている曲であることから、アメリカ人はこの曲を聞くとお正月を連想します。海外はこの曲は「Paul Lang Syne」というタイトルで知られていて、「今年も頑張ったね。来年も頑張ろう!」という意味があります。この曲を日本の

## A New Year

デパートで初めて聞いた時、「あれ、7月なのになんで流すんだろう?」とびっくりしました。新しい年が明けると新しいシーズンも始まります。そして新しいシーズンと言え、喜びや安らぎがあったり、せつなさや苦勞があったりするかもしれません。人生にはさまざまな出来事があり、予測できない将来を考えると少し不安になるかもしれませんが、何があってもいつか経験になって成長できるのでしょう。

去年起こった出来事を毎年振り返り、自分がどれくらい成長できたかを確認するのも良いですね。楽しい思い出も大切ですが、一番自分を成長させるのはチャレンジしたことやハードルを乗り越えた経験です。今までのチャレンジや苦勞がきっかけで、私は今笠間で働くことができます。これから、笠間で生活するうえで経験する楽しいことや、苦勞することに、全部向き合いながら歩んでいきたいと思っています。令和2年がはじまり、大変な時があっても、安らぎや喜び、励まし、そして、平和が共にあることをお祈りしています。

Happy New Year!

Andrew アンドリュー

【問い合わせ】市民活動課 (内線 133)